

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 19 日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者 土佐屋コンクリート工業(株)鹿央工場 住 所 熊本県山鹿市鹿央町千田1755番地 氏 名 馬場 学 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0968 (36) 3131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	土佐屋コンクリート工業(株)鹿央工場
事業場の所在地	熊本県山鹿市鹿央町千田1755番地
計画期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業土石、コンクリート製品(2523)
② 事業の規模	2023年度 製品出荷額 475,320,000円
③ 従業員数	24 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[成形ライン] --> B[コンクリートくず]; A --> C[製品加工]; C --> B; B --> D[宝建設 共宝クリーン]; D --> E[再生クラッシュヤーラン];</pre>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 工場長（廃棄物処理統括責任者） ↓ 廃棄物管理担当 ↓ 生産部門			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1503 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 成形方法の検討及び従業員教育		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1490 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 成形方法の検討及び従業員教育		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	63 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 積みブロックへの使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	70 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 積みブロックへの使用		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	1439 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1439 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 成形方法の検討及び従業員教育 ・ 積みブロックへの使用		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	1350 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1350 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 成形方法の検討及び従業員教育 ・ 積みブロックへの使用		
	※事務処理欄		